

WEEKLY SIGNAL

平成27年6月5日(金) 1277号

上田八木短資株式会社

来週の市場とレート予想

	6/8 (月)	6/9 (火)	6/10 (水)	6/11 (木)	6/12 (金)
無担保O/N	0 . 0 3 0 % ~ 0 . 1 2 5 %				
銀行券	+ 1,300	+ 1,000	ト ン	△ 1,000	△ 1,000
財政他	△ 1,200	△ 1,000	△ 8,000	△ 3,000	△ 1,000
資金需給	余 100	ト ン	不 8,000	不 4,000	不 2,000
主な要因	国庫短期証券発行・償還(3M)		国庫短期証券発行・償還(6M) 国債償還(10年物価変動)	交付税特会借入・償還	源泉税揚げ
オペ期日	CP等買入 △ 200 社債等買入 △ 100 共通担保(全店) △ 1,000				
オペスタート	ETF買入 + 200 共通担保(全店) + 700	国債買入 + 11,600 短国買入 + 5,000 CP等買入 + 3,500			
(日本)	GDP(1-3月期改定値) 国際収支(4月) 企業倒産(5月) 景気ウォッチャー調査 (街角景気5月調査)	マネーストック(5月) 消費動向調査(5月)	佐藤日銀審議委員講演 (甲府市) 機械受注(4月) 企業物価指数(5月) フェイルの発生状況(5月)	投信概況(5月) 法人企業景気予測調査 (4-6月期) 対外対内証券売買(前週分)	日銀営業毎旬報告 (6月10日現在) 日本銀行が保有する 国債の銘柄別残高 日本銀行による国庫短期 証券の銘柄別買入額
(海外)	米 労働市場情勢指数(5月)		米 財政収支(5月)	米 小売売上高(5月) 米 新規失業保険申請件数 (6日終了週)	米 生産者物価指数(5月) 米 シカゴ大学消費者 マインド指数(6月)

〔インターバンク市場〕

無担保ターム物	予想レンジ
SPOT 1M	0.080 ~ 0.120
SPOT 2M	0.117 ~ 0.125
SPOT 3M	0.118 ~ 0.135
SPOT 6M	0.130 ~ 0.150

<インターバンク>

今週の日銀当座預金残高は週初211兆円台から始まり、日銀による潤沢な資金供給が続く中で、週央は国庫短期証券発行や法人税揚げ等の揚げ要因から209兆円台まで減少した。週末は成長基盤強化を支援するための資金供給のスタート日でもあり、210兆7,500億円まで増加した。無担保コールON物は先週に比べやや強含み、週を通して0.07~0.078%で取引された。週末となる5日はビッド水準が底堅くなり、0.075%の出合いが中心であった。加重平均金利は0.073~0.075%の狭い範囲で推移した。ターム物は2W物が0.11%台後半で取引された。

今週実施された国庫短期証券買入オベは前回実施分(5月29日オファー、オファー額4,000億円、応札額1兆2,638億円)から1,000億円増額の5,000億円でオファーされ、応札額は前回とほぼ同様の1兆1,723億円であった。来週の材料は1-3月期GDP改定値(8日)、4-6月期法人企業景気予測調査(11日)が挙げられる。

〔オープン市場〕

NCD 3M	0.090 ~ 0.120
CP3M(a-1+)	0.077 ~ 0.087
TDB 3M	△0.005 ~ 0.005
現先(on/1w)	0.070 ~ 0.100

<CP>

今週の入札発行額は約4,100億円で、期落ち額約4,600億円(金融機関・ABCP除く)と同程度であった。発行案件のうち、約半数が期内償還物であった。a-1格相当銘柄の3M物入札発行レートは、0.090%近辺~0.100%台後半と、足許のレート上昇の流れを受け小幅に上昇した。現先レートの中心は、0.070%~0.100%程度と、小幅上昇して推移した。来週の期落ち額は約9,100億円となっている。

<TDB>

4日に国庫短期証券3M第536回債の入札が行われたが、最高落札レートは0.0020%(前回債0.0040%)、平均落札レートは0.0012%(前回債0.0012%)と前回債から利回りは若干低下した。セカンダリーは3Mで0.002%近辺の出合い。6M、1Yは目立った出合いは見られなかった。来週8日に6M、11日に3Mの入札が行われる予定である。

<レポ>

足許GCは週初0.07%台の出合から始まった。その後も0.06台後半から0.07%台のレンジで推移し、TDB3Mの入札が行われた4日には0.08%台の出合いも一部見られた。週末には短国買入オベが5000億円オファーされ、小幅低下し0.07%近辺の出合をつけ越えた。SCは2年352回債が週を通してネガティブレートで推移した。また40年8回債のニーズが高まりON物でネガティブレートの深い出合いが見られた。2年債は351・352回債、5年債は121・122・123回債、10年債は322・323・325・336・337・338回債に引合が多く見られた。

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。